



北星・原発問題 講演会

一般の方々の参加を歓迎します！

第32回 ご案内

テーマ 原子力の光と影 ＝原子力を正しく恐れる為に＝

《概要》日本では、2011年3月の東日本大震災の津波によって生じた東京電力福島第一原子力発電所の重大事故によって、沢山の地域住民の方々が平穏な普通の生活を奪われました。現在もその原子炉（建屋）の中には、約40年間の原子力発電を生み出した負の遺産といえる大量の使用済みの核燃料が放射線を出しながら発熱を続けていてそれを冷却する努力が片時も休まずに行われています。さらに、今後の廃炉の作業の中での必須工程である事故時のメルトダウンで溶け落ちた未使用の核燃料（デブリ）の取り出しを一歩間違えれば、臨界状態を引き起こし予期せぬ大災害を引き起こされる危険性も残っています。このような、原子力のいわば影の部分をしっかり理解し“正しく恐れる”ことは、現在を生きる私たちの「未来の世代」に対する大きな責任ではないでしょうか？

講師 矢吹 哲夫さん

《略歴》2017年度まで酪農学園大学 環境共生学類教授。2018年度から本学経済学部（全学共通教育部門）教授。専門は、環境物理学、数理生物学、生物物理学、理論物理学（素粒子論）。

日時 10月15日（月）18時～19時30分

会場 北星学園大学 C館5階 C500 教室

札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

地下鉄東西線「大谷地駅」1番出口 徒歩5分

会費 無料、予約不要、会場で受付します（注：資料代200円の場合あり）

*講演会終了後：懇親交流会（自由参加・実費必要）

主催：北星・原発を考える会

Web ページ：http://www.ipc.hokusei.ac.jp/projects/np_forum/

「北星・原発を考える会」では賛助会員を募集中です、希望の方は連絡先へ

連絡先：(e-mail: projects@hokusei.ac.jp, Fax:011-896-7660)